

施策番号	443	施策名	自然環境・景観の保全	主管課名	まちづくり課
総合計画 体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和 2 年度課長名	小林 英将
	関係課名		くらし安全課 産業観光課	シート作成者	柳井 和彦

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	
ア	町民	→	ア	人	見込値 実績値			12,143	11,970	11,800	
						12,926	12,754	12,625			
イ		→	イ		見込値 実績値						
ウ		→	ウ		見込値 実績値						
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	
ア	自然環境保全の意識を高め、保全活動をしてもらう	→	ア	%	自然環境の保全行動をしている町民の割合	目標値	46.8	48.4	50.0	42.0	44.0
						実績値	41.6	38.0	38.0		
						達成率	88.9%	78.5%	76.0%	90.5%	86.4%
イ	自然環境や歴史資産と調和した個性ある魅力的な景観を保全する	→	イ	%	町の景観が優れていると感じている町民の割合	目標値	68.0	69.0	70.0	72.0	73.0
						実績値	67.1	69.8	74.6		
						達成率	98.7%	101.2%	106.6%	103.6%	102.2%
ウ		→	ウ			目標値					
						実績値					
						達成率					
エ		→	エ			目標値					
						実績値					
						達成率					
⑤ 成果指標設定の考え方	ア)イ)意図に対する直接的な質問であるため。自然環境保全の意識の高まりとともに、保全行動している町民が増えていくものと考えられるため。また、成果の向上と共に景観が優れていると感じる町民が増加すると考えられるため。				⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア)イ)町民アンケートにより把握。(回答率48.1%)					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の環境衛生委員会を中心として、町民それぞれが環境保全を認識し、道路、河川、水辺、森林等環境美化に努める。 地域やコミュニティが共助し、又は自助に周辺の環境保全に努める取り組みを広げてもらう。 美しい景観を地域で作り上げることで、環境保全の意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発活動、不法投棄等のパトロール、水辺の環境保全・整備及び住民活動への啓発・支援。 住民活動への財源助成(鏡野町未来・希望基金事業等)。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度 の 評価結果	① 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)
	<p>・町の景観が優れていると感じている町民の割合は、目標とする70%をほぼ達成しているが、一方で自然環境の保全行動をしている町民の割合は年々減少傾向にある。その要因としては、保全活動のイメージが地域の清掃活動等のみととらえられていると思われる。家庭の省エネルギー化を行っている町民を含めるともう少し割合が高くなるものと思われる。</p> <p>・省エネ機器導入促進補助金の申請数は令和元年度62件、令和2年度96件と増加している。</p>
	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)
	<p>・津山市の市民意識調査(津山市環境基本計画)では「家庭での環境にやさしい行動について」の項目で、何かしらの行動をしている人の割合が80%以上であり、「地域の環境の現状について」の項目では「美しい景観を保全できている」と思っている人の割合は42.5%であった。</p> <p>・鏡野町の指標と比較すると保全行動をしている割合は津山市のほうが高く、景観が優れていると感じている割合は津山市のほうが低い。平均して比較するとほぼ同水準と考えられる。</p>
	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)	
<p>・住民の概ね7割が、鏡野町の景観について優れていると回答しており、相対的に見て町内の自然環境については守られていると言える。ただ、各地で花づくり事業などに取り組んでいただいている団体の高齢化が進む中、アンケートの内容では、20歳から40歳代について、自然環境の保全活動に参加している方の割合が40%にも満たない状況(特に30歳から40歳については20%前後)であり、若い年代の方について、今後いかに活動に参加していただけるかが課題と言える。</p>	
<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準	
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取り組みや目標達成度	
■ 2 年度の主な取り組みの成果(改革改善した取り組み、目標の達成度は?)	
<p>・美しい町づくり事業による緑化事業は未来希望基金事業の中に含めて実施することとした。</p> <p>・省エネ機器導入促進補助は薪ストーブや電気自動車など関心は高まっている。</p>	
<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下	
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向(うまくいかなかった取り組みや事務事業は? その原因は?)	
<p>・自然環境・景観の保全事業は継続性が重要となるため、一旦その取り組みを止めると原状回復に多大な時間と経費を要する。景観は町のイメージに大変関わり、特に定住化促進事業や観光事業での集客を行う上で、環境・景観の悪化は第一印象としてのイメージダウンに繋がりがかねない。</p> <p>・景観の保全ばかりでなく、省エネルギー機器の導入等も環境保全活動であることを認識してもらう広報活動が今後は必要である。</p>	